

医療機関向け広報誌

# 地域医療連携だより

Iwate Medical University Hospital News

2026年  
4月号



- 新年度のご挨拶
- 就任のご挨拶
- 診療科紹介

- 新任教授のご挨拶
- INFORMATION
- 紹介予約センターへのご紹介方法



岩手医科大学附属病院 / 内丸メディカルセンター

患者サポートセンター長

小原 航 おばら わたる



日頃より当院診療に格別のご高配を賜り、また多くの患者さんをご紹介いただき、誠にありがとうございます。本年度もよろしくお願ひ申し上げます。

2026(令和8)年4月より、岩手医科大学附属病院は、一部の診療科を除き、内丸メディカルセンターと統合いたしました。なお、内丸メディカルセンターでは引き続き、総合診療科、リプロダクションセンター、歯科の一部の診療を継続いたします。統合に伴い、患者さんをご紹介いただく際の「紹介予約センター」は、矢巾患者サポートセンター内へ移転いたしました。各診療科への患者さんのご予約は、従来どおり下記のいずれでも受け付けております。ご不明点がございましたら、患者サポートセンターまでお気軽にお問い合わせください。

**FAX 紹介**【FAX 番号：019-611-8071】 **電話**【電話番号：019-613-7111 (代表) 内線 4161】

**WEB**【WEB 予約システムのご利用は事前登録制となります】

また、当院患者サポートセンターは地域医療連携部門、入退院支援部門、医療福祉相談部門の三本柱で運営しており、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務員等が連携し、患者サービスの向上と関係機関との連携強化に努めております。

- ・地域医療連携部門：紹介窓口業務のほか、医療機関専用コールセンターの運用、広報誌の発行、返書管理、医師会との懇談会の企画等を行っております。
- ・入退院支援部門：入院前から退院後まで安心して療養ができるよう、早期から多職種が連携し入退院支援を開始しております。あわせて、地域医療機関からの転院受入れ、ケアマネジャー・訪問看護師等との連携による在宅療養支援にも取り組んでおります。
- ・医療福祉相談部門：医療ソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士等）が、療養に伴う社会的・経済的・心理的な課題に関するご相談をお受けし、問題解決に向けて一緒に考え支援しております。

当センター職員一同、紹介窓口業務をはじめ、入退院支援・転院調整、患者相談等、さまざまな場面で地域連携の推進に一層努めてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

内丸メディカルセンター長

千葉 俊美 ちば としみ



2026(令和8)年4月1日に岩手医科大学附属内丸メディカルセンター長を拝命致しました。皆様には御指導を頂きながら重責を果たすべく努力して参ります。

本年4月から本学附属病院再編に伴い、当センターは診療科の縮小をして新たなスタートを致しました。皆様にはご不便をおかけ致しますが何卒よろしくお願ひ申し上げます。内丸メディカルセンターの診療科は、総合診療科、リプロダクションセンター（婦人科）および歯科でございます。本学学生および研修医の実習場所としての位置付けもございます。また、内丸地区は岩手医科大学の発祥の地でございますので、地域に根差した医療と矢巾附属病院と連携を取り先進医療の橋渡しとして大切な役割を担って参ります。

診療科をご紹介致します。総合診療科は、当センターの受診を希望する患者様の診療およびオープン外来として一部の専門外来を継続致します。また、いずれの診療科を受診したらよいか迷う様な場合には、ぜひとも総合診療科を受診して頂き、適切な診断と治療を施して参りますのでよろしくお願ひ致します。リプロダクションセンター（婦人科）は、高度な不妊治療、プレコンセプションケア（妊娠前の健康管理）、不妊相談、良性婦人科疾患の治療などを引き続き担って参ります。相談しやすい環境をさらに整えて参りますのでよろしくお願ひ致します。歯科医療センターでは、引き続き口腔内の健康管理の維持を図り治療を行って参ります。全身麻酔を用いる歯科治療は矢巾附属病院で行いますが、う蝕、歯周病および義歯の治療を当センターで継続致します。そして、矯正治療および歯科インプラント治療においても引き続き当センターで行いますのでよろしくお願ひ致します。

交通の利便性の良い内丸地区の医療機関として、市民の皆様の期待に応えられるように、皆様のご意見を頂戴し、新たな内丸メディカルセンターを構築し進んで参る所存でございますので引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

口腔医療センター長

山田 浩之 やまだ ひろゆき

2026（令和8）年4月1日付で岩手医科大学附属病院の口腔医療センター長を拝命しました山田浩之です。

口腔医療センターは、附属病院の再編計画により矢巾の歯科外来をリニューアルして設立されました。これまで矢巾附属病院の歯科外来では入院患者さんを中心に診療を行ってまいりましたが、4月からは外来患者さんの受け入れを開始します。この変更に伴い、口腔医療センターに含まれる小児歯科、障がい者歯科、歯科麻酔科、口腔外科の新患を矢巾附属病院で受けることになりました。矢巾附属病院は特定機能病院であるため口腔医療センターの新患受付は、紹介予約センターを介する完全予約制となります。また、内丸地区に岩手医科大学附属内丸メディカルセンターの1部門として、歯科医療センターは残りますので、その他の歯科診療科の新患は、これまで通り内丸で受けます。受診の窓口は異なりますが、受診後は内丸と矢巾の両センターで柔軟に連携を取りながら歯科の2病院体制を維持してまいります。

口腔医療センターでは、周術期の口腔機能管理、摂食嚥下リハビリテーション、骨粗鬆症治療前の薬剤関連顎骨壊死予防のためのスクリーニング、鎮静剤を用いた歯科治療等、様々な事例に応じて他の診療科と連携しながら、専門性の高いチーム医療を提供できるよう努めています。地域の医療機関とも連携し、患者ファーストの医療を追求してまいります。

また、次世代の人材の育成と、高度化する口腔医療の研究開発を両輪とする教育、研究施設としての役割を果たすことは、重要な使命です。本学建学の精神「医療人たる前に、誠の人間たれ」の理念の下、歯学部や臨床研修歯科医が現場で患者さんと関わる時間を最大限に生かす指導を心掛け、信頼に足る歯科医師に成長することを目指します。

当センターでは、今後も安心、安全で質の高い口腔医療の提供に努め、皆様のご期待に沿えるよう、スタッフ一同ベストを尽くしてまいります。将来にわたり持続可能な口腔医療の発展のため、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



歯科医療センター長

泉澤 充 いずみさわ みつる

このたび、2026（令和8）年4月1日付で歯科医療センター長の職を拝命致しました泉澤 充と申します。微力非才の身ではございますが、歯科医療センター発展のため今後一層の努力を致す所存です。

本年度は内丸メディカルセンターと歯科医療センターの一部機能の矢巾附属病院移転からスタート致します。歯科医療センターでは、口腔外科、小児歯科、障がい者歯科、歯科麻酔科が移転となり、それに伴いスタッフ数の減少や受診患者の減少も予想されております。内丸に残るスタッフは今後に不安を感じている方も少なくないかと思われれます。

しかしながら漫然と現状をただ受け入れるのではなく、多くの問題に対応すべくWGを立ち上げ、今後の歯科医療センター運用について検討を重ねております。特に診療室については多くの意見がございます。可能な限り診療室を集約することで、減少したスタッフを効率的に配置することが可能となり、電力などのコストも削減を期待できます。診療室集約により診療科間の横のつながりを緊密にすることで診療の質の向上が期待でき、フロアの集約についても患者様の利便性向上に繋がることと考えます。

現在、歯科医療センターの歯科医師数は減少しております。移転をきっかけとして既存の診療科の枠を超え1つの大きな診療形態を整えることで個々の医師の負担減少、相互の互助関係に連携することも期待されます。

歯科医療センター長は、スタッフの意見や希望を実現させていくことが役割であると考えております。多くのスタッフが納得し、働きやすい環境を整えていくことが重要です。そのための舵取り役を託されたと考えております。歯科医療センターは長年、地域歯科医療を担う中核施設として多くの患者さん、周辺医療機関に支えられて今日まで参りました。

今後も、多くの方々と協力しながら「新」歯科医療センターが地域歯科医療の中心を担える存在であるよう、尽力して参ります。



# 外科

岩手医科大学外科学講座は、地域医療の中核を担う高度な外科診療を提供するとともに、次世代の外科医育成と臨床研究の発展に取り組んでいます。

当講座では、上部消化管、下部消化管、肝胆膵、内分泌、乳腺、小児の幅広い領域を担当し、それぞれの分野において専門性の高い診療を行っています。岩手医科大学附属病院のホームページで紹介されている「Strong Point ～岩手医大が推進する医療～」では、肥満症・糖尿病に対する減量・代謝改善手術、甲状腺良性腫瘍に対する内視鏡下甲状腺切除術、腹腔鏡下およびロボット支援下肝切除術、脳死および生体肝移植、ctDNA を用いた大腸癌の再発診断や治療評価、新生児内視鏡外科手術、気膀胱下膀胱尿管逆流症手術をあげており、多くの高度な医療を県内外の患者に提供しています。特に腹腔鏡下手術は全国的にも早い時期から多くの領域で取り組んでおり、現在はロボット支援下手術を取り入れながら、低侵襲手術の中心的な施設として診療・教育にあたっております。

「Strong Point ～岩手医大が推進する医療～」の動画でも紹介している腹腔鏡下およびロボット支援下肝切除術を紹介させていただきます。現在、日本国内において肝切除術のうち約40%が腹腔鏡下で行われているとされており、標準



的な治療選択肢の一つとして広く普及しています。また、2022年にはロボット支援下肝切除術が保険収載されたことにより、多くの施設で腹腔鏡からロボットに移行しつつあります。

我々は1993年から腹腔鏡下肝切除術に取り組んでおり、手術手技の工夫や手術機器の開発などにより90%以上を腹腔鏡下で行うに至りました。ロボット手術が保険収載された2022年以降はそのほとんどをロボット支援下で行っており、全国有数の施設として認知されています。大学病院を含めた他施設に対する手術応援や当院への手術見学も多く、今後も高度な外科診療を提供するとともに次世代への教育に努めていきたいと考えております。



岩手医科大学附属病院  
ホームページ  
[Strong Point  
～岩手医大が推進する医療～]



# 矯正歯科

歯科医療センター矯正歯科では、乳幼児期から高齢期まで幅広い年齢層を対象に、さまざまな不正咬合に対する矯正歯科治療を行っております。歯並びや咬み合わせの改善は、審美面のみならず、咀嚼機能や口腔機能の維持・向上、さらには全身の健康管理にも重要な役割を担っています。

当科は北東北唯一の歯学部附属医療機関として、高度で専門性の高い矯正歯科治療を提供しています。顎変形症や口唇・口蓋裂をはじめとする先天性疾患に起因する不正咬合に対しては、形成外科、小児科、口腔外科など関連診療科と

協働し、成長発育を見据えた包括的治療を実践しています。口唇・口蓋裂患児に対しては、生後早期より術前顎矯正治療を開始し、哺乳機能の改善および顎発育の誘導を図っています。顎変形症に対する外科的矯正治療では、口腔外科や形成外科と連携して、安全性と精度の高い治療を行っています。また、睡眠時無呼吸症に対しては睡眠医療科と診療体制を整え、口腔内装置療法を担当しています。各疾患に対して、必要とされる専門的治療を関連診療科と連動して実践し、大学病院ならではの高度医療体制と専門性を生かした診療を行っています。

## 「矯正歯科治療＝自費」ではありません。

保険適用の対象は

顎変形症

前歯および小臼歯 3 歯以上の萌出不全に起因する  
咬合異常 (埋伏歯開窓術を必要とするもの)

厚生労働大臣が  
定める疾患 (66 疾患)

厚生労働大臣が定める疾患には、唇顎口蓋裂、ゴールデンハー症候群、鎖骨頭蓋骨異形成、トリーチャ・コリンズ症候群、ピエール・ロバン症候群、ダウン症候群など、顎顔面の成長や咬合に影響を及ぼす先天性・全身性疾患が含まれます。

該当が疑われる症例や、保険適用の可否について判断に迷われる症例がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

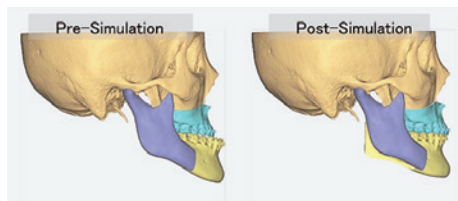
## 注目の治療法

### ● 外科的矯正治療における 3D デジタル臨床

外科的矯正治療は、顎骨の変形により矯正歯科治療のみでは改善が困難な症例に対し、矯正歯科治療と顎矯正手術を組み合わせる治療法です。

当院では、口腔内スキャナーやコーンビーム CT、3D プランニングソフトを用いた術前シミュレーションにより、顎骨移動量や術後咬合を数値化した精密な治療計画が可能となっています。さらに、3D プリンターを活用したサージカルガイドや実体モデルの作製により、複雑症例への対応や診療科間での治療方針共有が円滑となり、安全性と予知性の高い治療を行っています。

3D ソフトウェア シミュレーション



3D プリンターを用いた顎骨模型・サージカルガイドの製作



# 新任教授のご挨拶

## 整形外科科学講座

### 角谷 賢一郎 かくたに けんいちろう

皆様、はじめまして。

2026(令和8)年1月1日付で、岩手医科大学医学部整形外科科学講座 教授を拝命いたしました角谷賢一郎と申します。2000(平成12)年に弘前大学を卒業し、このたび歴史と伝統ある本講座の第十一代教授として、その歩みを引き継がせていただくことになりました。身の引き締まる思いとともに、このようなご縁をいただいたことに心から感謝しております。

本講座は、1935(昭和10)年の開講以来、地域医療を支えながら整形外科科学の発展に大きく貢献してきました。諸先輩方が築いてこられたこの確かな基盤の上に立ち、時代の変化に応じた医療・教育・研究を、皆様とともに育てていきたいと考えております。

学生時代には硬式テニス部に所属し、当時から岩手医科大学硬式テニス部の皆様とは定期戦を通じて交流させていただいておりました。若い頃に多くの刺激と学びを受けた盛岡の地に、こうして再び戻ってくることができ、大変嬉しく、また不思議なご縁を感じております。

私は脊椎外科を専門とし、椎間板変性に関する基礎研究や脊椎転移に対する集学的治療について、研究と臨床の両面から向き合っておりまいた。とくに、脊椎転移はがん患者さんの生活の質や予後に直結する疾患であり、がん患者さんが安心して全身治療を継続できるための Bone management は、整形外科医にとって極めて重要な役割です。私は、これら二つの分野を軸に研究と臨床を続けてまいりました。教室運営においては、風通しの良い雰囲気や学年に関わらず意見を交わし合える教室を目指します。若い先生方が、臨床にも研究にも前向きに挑戦できる環境づくりに力を注いでまいります。

微力ではございますが、医局員の先生方、関連病院の皆様、そして地域の皆様と力を合わせ、岩手医科大学整形外科のさらなる発展に取り組んでまいります。



## 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

### 中西 啓 なかにし ひろし

2025(令和7)年12月15日付で岩手医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座に赴任いたしました。初代・金野巖教授が1929年に本講座を開講されて以来、90年以上にわたり受け継がれてきた伝統ある講座を担当させていただくことは、大変光栄であると同時に、その重責を強く感じております。

私は静岡県裾野市に生まれ育ちました。富士山の裾野に広がる標高の高い地域で、小学生時代には課外活動として宝永山への登山を経験しました。初めて味わった達成感と山頂からの眺望は強く印象に残り、これが現在まで続く登山という趣味の原点となっています。現在も登山を楽しんでおり、岩手県の岩手山や早池峰山にも挑戦したいと考えております。

2003(平成15)年に浜松医科大学を卒業後、同大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座に入局しました。市中病院での臨床研修を経て大学院博士課程に進学し、難聴原因遺伝子の解析に関する基礎研究に従事しました。その後、研究をさらに発展させるため米国国立衛生研究所に留学しました。

2015(平成27)年に帰国した後は、遺伝学的検査に基づく難聴診療を実践してまいりました。原因遺伝子の同定により、予後予測や治療効果の評価、合併症発症の可能性評価が可能となります。現在、感音難聴に対する根治的治療は困難ですが、OTOF 遺伝子を対象とした遺伝子治療の治験が開始されており、今後の臨床応用が期待されています。一方、中耳疾患による難聴に対しては外科的治療が有効であり、耳小骨異常、耳硬化症、真珠腫性中耳炎、慢性中耳炎などに対する手術を数多く経験してきました。感染耳に対しても良好な治療成績を得ており、顔面神経減荷術や残存聴力を温存した人工内耳手術にも取り組んでおります。人口減少と高齢化が進む岩手県において、これまでの研究・臨床経験を生かし、地域の皆様に信頼される耳鼻咽喉科・頭頸部外科医療を提供できるよう尽力してまいります。ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 病院統合・再編のお知らせ

2026（令和8）年4月1日、附属病院（矢巾町）と内丸メディカルセンター（盛岡市）（以下内丸MC）は、一部の内科・歯科診療科を除き、診療機能を統合・再編いたしました。附属病院は完全予約制ですので、医療機関様より事前にご予約くださいますようお願いいたします。診療科の詳細は下記をご確認ください。今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

### 診療科（2026年4月1日時点）

#### 内丸メディカルセンター（盛岡市）

総合診療科／婦人科（リプロダクションセンター；生殖医療）  
歯科（口腔総合診療科／高度先進保存科（むし歯・根の治療外来）  
歯周病外来／予防歯科・口臭外来）／高度先進補綴科／口腔インプラント科／  
歯科放射線科／矯正歯科）

#### 附属病院（矢巾町） ※完全予約制

消化器内科／糖尿病・代謝・内分泌内科／腎・高血圧内科／循環器内科／  
呼吸器内科／リウマチ・膠原病・アレルギー内科／血液腫瘍内科／  
脳神経内科・老年科／外科／小児外科／脳神経外科／心臓血管外科／  
呼吸器外科／整形外科／形成外科／産婦人科／小児科／耳鼻咽喉科／  
頭頸部外科／眼科／皮膚科／泌尿器科／精神神経科／児童精神科／放射線診断科  
放射線治療科／麻酔科／救急科／臨床検査科／臨床腫瘍科／  
総合診療科／睡眠医療科／臨床遺伝科／緩和ケア科／  
歯科（口腔外科／歯科麻酔科／小児歯科／障がい者歯科）  
※総合診療科へのご紹介は、特殊外来を除き附属病院で受け付けます。

## 附属病院の駐車場が広くなりました

附属病院の駐車場の拡張工事を行い、駐車台数が増加しました。

- 一般駐車場 972 台（463 台追加）
- 障がい者駐車場 19 台（9 台追加）



## 4/1～ 紹介予約センターへのご紹介方法



### FAX によるご紹介

FAX は 24 時間受け付けますが、返信は翌診療日となります。

**STEP 1** 下記の FAX 番号まで診療申込書をご送信ください。

FAX **019-611-8071**

**STEP 2** 紹介予約センターより紹介元医療機関様に**予約日時、受診先病院を記載した** FAX 受信確認書および予約票を返信いたします。(返信は診療時間内となります)

**STEP 3** 翌診療日までに**紹介状**を紹介予約センターまでご送信ください。(①にて診療申込書と紹介状を送信いただいている場合は不要です。)



### WEB によるご紹介 ※入院(転院)依頼は FAX もしくはお電話にてお願いいたします。

**STEP 1** 専用サイトからログインしてください。

**STEP 2** 紹介先の診療科をお選びいただき、候補日時の中からお希望の予約日時をお選びください。最後に紹介患者様の氏名、性別、生年月日、ご連絡先を入力してください。

**STEP 3** ご登録いただいているメールアドレスに**受付内容を記載した**予約票をメール送信します。(自動送信)

**STEP 4** 受信したメールを印刷し患者様にお渡しください。

**STEP 5** 翌診療日までに**診療申込書、紹介状**を下記 FAX 番号までご送信下さい。

FAX **019-611-8071**

WEB 予約システムのご利用を希望される医療機関様は紹介予約センターまでご連絡ください。ご登録方法をご案内いたします。

緊急の診察依頼は **365日24時間** 対応します



岩手医科大学附属病院  
患者サポートセンター

地域医療連携だより (岩手医科大学附属病院) 4月号

【発行日】 2026年4月1日

【発行】 岩手医科大学附属病院患者サポートセンター(地域医療連携センター事務室)  
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通2-1-1  
TEL:019-613-7111(内線4152) FAX:019-611-8071

【印刷】 河北印刷株式会社  
盛岡市本町通2-8-7 TEL:019-623-4256 E-mail:office@kahoku-ipm.jp